

カリキュラムの  
構成と履修方法

神道文化学科専門教育科目の構成とその履修方法は、次のとおりである。

専門 教育 科目	専 門 基 礎 科 目		20 単位	必 修
	基 幹 講 義 科 目	神道文化科目群	6 科目	選 択 必 修
		宗教文化科目群	12 単位 <sup>注1)</sup>	
	基 幹 演 習 科 目	神道文化科目群	2 科目	選 択 必 修
		宗教文化科目群	8 単位 <sup>注2)</sup>	
	展 開 科 目	神職基幹科目群	16 単位以上	選 択
		神道社会実践科目群		
宗教文化科目群				
伝統文化科目群				
基幹講義科目・基幹演習科目・展開科目超過分			8 単位以上	選 択
選 択 科 目				
合 計			64 単位以上	

注 1) 下記の 3) を参照。

注 2) 67 ページの「基幹演習科目および演習論文について」を参照。

- 1) 専門教育科目の科目・開講時期・単位数・開講学年については、次ページ以降を参照すること。
- 2) 1 年次開講の専門基礎科目「神道文化基礎演習」はフレックス A コース・フレックス B コースともそれぞれ複数講座が開設されるが、学生はクラス別編成により指定された講座を受講しなければならない。
- 3) 基幹講義科目・展開科目のうち、下記の科目は I または A を修得していないと II または B を履修することはできない。  
祭祀学 I・II、神道思想史学 I・II、古典講読 IIA・IIB、古典講読 IIIA・IIIB、祝詞作文 I・II、神社祭式概論 I・II、宗教行政研究 I・II、神社管理研究 I・II  
神道と武道 I・II
- 4) 基幹演習科目の履修方法については、67 ページを参照すること。
- 5) 「神社祭祀演習 I」「同 II」については、I を修得していないと II を履修することはできない。従って、I・II を同一年度に履修することはできない。また、この科目の履修に際しては、授業開始までに次の用具を準備すること。  
白衣、白襦袢、白帯、白袴〔女子は女子用のネジマチ仕立の袴〕、白足袋 (2～3 足)、笏〔女子は扇 (ボンボリ)〕
- 6) 神職資格 (明階検定合格正階授与) 取得希望者は、158 ページを参照し、神職課程の履修規程に従い、受講すること。なお、次ページからの科目表の「神職階位取得に必要な科目」において、当該科目を示している。
- 7) なお、本学では明階総合課程を開講している。この課程は 4 年次からの受講となるが、別に設けた条件を 3 年次終了までに満たし、受講を認められた者のみ受講可能となる。受講を希望する者は、160 ページを参照すること。

教養総合科目・  
神道科目の受講  
に関する注意

教養総合科目のうち、神道科目に配置されている科目については本要綱 83 ページに記載しているとおり、神道文化学部の学生が受講する場合、選択科目となるが、卒業要件単位に算入できるのは 2 科目 4 単位までと規定されている。また、教養総合科目の単位を専門教育科目の単位として流用することも一切できないので、受講にあたっては注意すること。